

## エ 記念誌・その他の刊行物

### (ア) 開館10周年記念誌

書名	内容等	発行年月
開館10周年記念誌 時空の旅 ふるさとを訪ねて	開館10周年を記念し、開館以来の研究や活動の成果をまとめた。過去のパネル展示等で紹介した資料をカラーで写真撮影し、テーマごとに解説している。また、主な収蔵資料、刊行物、過去に開催した古文書講座・歴史講座一覧も収載している。	平成15年3月



### (イ) 古文書講座控帳

書名	内容等	発行年月
和歌山県立文書館 古文書講座控帳	古文書学習の便を図るため、過去の古文書講座で用いたテキストの一部を再構成した。12点の古文書を収録しており、それぞれ資料の写真、釈文、読み下し、語意等を掲載している。	平成17年3月



### (ウ) 開館15周年記念誌

書名	内容等	発行年月
開館15周年記念誌 紀の国へのいざない —和歌山県立文書館だより第24号 永久保存版—	開館15周年を記念し、文書館だよりの記念号として、文書館の業務内容や収蔵資料の解説等をまとめた。 古文書等を読み解きながら、人々の暮らしや藩政などをわかりやすく解説した21編の読み物と6編のコラムを収録している。内容は、当館ホームページでも公開している。	平成20年12月



## (工) 開館20周年記念誌『古文書徹底解釈 紀州の歴史』

平成25年度、開館20周年を記念し、過去の古文書講座で取り上げた資料の中から古文書を厳選し、徹底的に読解する冊子を作成した。

古文書の写真に読み下しや現代語訳を添えるとともに、歴史用語についての解説、敬語や補助動詞など語法についても詳しく説明している。

平成26年度以降はシリーズ化し、令和2年度までに全8巻を刊行した。内容は、当館ホームページでも公開している。

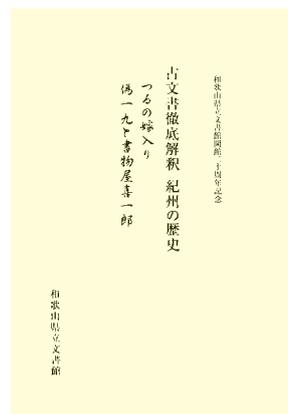


写真12 『古文書徹底解釈 紀州の歴史』

### 『古文書徹底解釈 紀州の歴史』一覧

集	書名	内容等	発行年月
1	つるの嫁入り・偽一九と書物屋喜一郎	「つるの嫁入り」では、中尾家文書（当館蔵）から、海部郡塩津浦（現海南市下津町塩津）の百姓の娘つるが嫁入りしてから没するまでの約30年にわたる一家と村の暮らしを、「偽一九と書物屋喜一郎」では、坂本屋喜一郎家文書（当館蔵「県立図書館移管資料」所収）を取り上げる。	平成26年3月
2	朝暮母を慕う	県立図書館移管資料（当館蔵）より、武家（家臣）から頭を通じて上がってきた願いを、その認否も含めて御用部屋で書き写した幕末期の「願達留」を中心に取り上げる。	平成27年3月
3	彦次郎、威光を笠に着る	御坊村文書（当館蔵「県立図書館移管資料」所収）より、紀州藩の役人から廻ってきた触書などを日高郡御坊村（現御坊市御坊）の庄屋が書き留めた「御用留」を取り上げる。	平成28年3月
4	源太夫、情けを以て申し諭す	堀家文書（当館寄託）から、堀源太夫が紀州藩の「胡乱者改」を務めた過程で作成・取得した古文書を取り上げる。	平成29年3月
5	おもてかた表方願い出で候節は彼是面倒	岡本家文書（当館寄託）から、江戸時代、高野山寺領であった那賀郡神野組福田村（現海草郡紀美野町福田）の岡本氏が、高野山から命じられて各種揉め事の処理をした過程で作成・取得した古文書を取り上げる。	平成30年3月
6	夜分火を焚き酒食を用い	瀬戸家文書（当館寄託）から、幕末期の紀州藩日高郡天田組の大庄屋が職務上作成・取得した古文書を取り上げる。	平成31年3月
7	拙者出張り居り候	中筋家文書（当館蔵）から、紀州藩名草郡和佐組の大庄屋が職務上作成・取得した古文書を取り上げる。	令和2年3月
8	御巢鶴捉り飼い	高橋家文書（当館寄託）から、海部郡木本村（現和歌山市木ノ本）に居住する根来者の高橋家（当初は垣内家）が、紀州藩主が鷹狩を行う鷹場の獲物を増やすために烏や鷲、鳶などを鉄砲で駆除する役目を務めたり、あるいは根来者の名義を相続する過程等で作成した古文書を取り上げる。	令和3年3月